

著書名：PT・OT が現場ですぐに使える リハビリのコミュニカ

著 者：西尾幸敏

発行所：金原出版 (2017/2/1)

定 価：本体 2,376 円＋税

内容紹介：

クライアントとベテランセラピスト、中堅・若手セラピスト、他職種スタッフの間で交わされる会話を通じて、リハビリの“コツ”を学べる良書です。CAMR (Contextual Approach for Medical Rehabilitation: 医療的リハビリテーションのための状況的アプローチ) の考え方を使った、“クライアントの心情に寄り添った実践的な”アプローチを学べる内容となっています。学校の教科書だけでは学べない臨床のコツを実感できるのではないのでしょうか。上田法を用いた例も紹介されています。

新人 PT・OT はもちろん、後輩を指導するリーダーにも最適な一冊です。

目次：

はじめに

人物紹介

第 1 話 「科学的根拠」と「経験」はどちらも大事!

— 痛みを訴える患者のリハビリ

第 2 話 「CAMR と足場作りの技術」

— 達之介のリハビリ勉強会 1

第 3 話 「最初うまくいった方法」をいつまでも繰り返さない!

— 脳梗塞右片麻痺患者のリハビリ

第 4 話 10 分でざっくり学ぶシステム論と CAMR

— 達之介のリハビリ勉強会 2

第 5 話 実りある繰り返し課題はこう活かす

— 達之介のリハビリ勉強会 3

第 6 話 学んだ技術と考え方を現場で実践する

— 偽(にせ)解決を学ぶ

第 7 話 これだけは知っておきたい「運動課題設定」

— 達之介のリハビリ勉強会 4

第 8 話 失禁があつて家に帰れない

— 他職種との協力はこう実現する

本書のまとめ

CAMR のルール

CAMR ならではの治療技術

達之介さんと過ごし過ごした 1 年を振り返って

おわりに

著者略歴：

介護老人保健施設にてパートの理学療法士として勤務。

CAMR 研究会代表、元 国立呉病院附属リハビリテーション学院 理学療法学科教官、上田法研究会理事。

一貫して臨床現場の第一線でリハビリをしながら、臨床現場の課題を解決できるリハビリ法(CAMR)を開発・啓蒙している。

1957 年生まれ、国立呉病院附属リハビリテーション学院理学療法学科卒。

国立療養所での勤務を経て、1989 年に国立呉病院附属リハビリテーション学院 理学療法学科にて教鞭を執る。同年に上田法治療研究会に入会し、上田先生からシステム論を学ぶ。

1991 年にアメリカのイリノイ大学に留学。ケシュナー助教授の下、システム論と課題主導型アプローチを学ぶ。

システム論を臨床現場で活かすために急性期病院に勤務していたが、2005 年に母親の認知症がひどくなり、自宅介護のために退職。介護をしながら障害者支援施設に勤務し、その後、現在の介護老人保健施設に勤める。

2007 年よりドイツの上田法講習会で「システム論を基にしたアプローチ」の講義を 3 回にわたり担当。2013 年に CAMR 研究会を創設。

PT・OTが現場ですぐに使える

リハビリ

コミュニケーション

CAMP研究会代表
元 国立病院附属リハビリテーション学院
理学療法学科 教授

西尾 幸敏 著

ベテランセラピスト「達之介」が
長年培ってきたコツが
会話中心のストーリーで
ザックリわかる。



- ★「科学的根拠」と「経験」はどっちも大事！
- ★学生時代に学んだことはこう活かそう
- ★他職種と連携して現場のトラブルを解決しよう
- ★患者や介助者とのコミュニケーションではここを見て、こう話す

新人PT・OTの最初の一步、
後輩を指導するリーダーの再入門に最適な一冊！

金原出版株式会社